
「MRI テクスチャ解析を用いた

肩腱板修復術後の腱状態予測に関する研究」に関するお知らせ

このたび、当院で診察を行った患者さんの診療録および画像データを用いた以下の研究を実施いたします。

本研究は、埼玉医科大学病院 IRB の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。

本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、カルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

研究の概要について

1. 研究の対象となる方

2012年1月1日から2025年12月31日の期間に埼玉医科大学病院を受診し、肩腱板断裂に対して鏡視下腱板修復術が成された患者さんで、術前や術後12か月以内にMRI検査を実施した患者さんを対象としております。

2. 研究の目的

肩腱板断裂のMRIを撮った患者さんで、テクスチャ解析と呼ばれる特殊な画像の解析を行って、術後の腱の状態との関係性を調べたり、腱の状態を予測できるかどうかを調べます。

3. 研究期間

病院長の許可後～ 2027年11月30日

4. 利用または提供の開始予定日

2026年4月20日

開始予定日以降も研究への利用停止などのお申し出に対応いたします。

研究に用いる試料・情報について

1. 試料・情報の内容

MRI画像：肩関節の画像

診療記録（年齢、性別、外傷歴の有無、発症からのMRI撮像までの期間、スポーツ歴、仕事歴、ステロイド注射歴、糖尿病の有無、腱板断裂の重症度（Cofield分類に基づく）、断裂の部位、腱板構成筋の萎縮や脂肪変性の程度、術前の関節可動域、術後の修復腱板の再断裂の有無）

※この研究で得られた患者さんの情報は、埼玉医科大学病院IRBにおいて、研究責任者である山本裕也が、個人が特定できないように加工した上で管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

2. 試料・情報の取得方法

当院において、2012年1月1日から2025年12月31日までの期間に3T MRI装置を使用し肩
腱板断裂評価の目的で撮像した患者さんの検査を実施した際に生じたMRI検査データおよび診療
記録等を用います。

3. 試料・情報を利用する者（研究実施機関）

- ・ 埼玉医科大学病院 放射線科 名川 恵太（研究責任者）
- ・ 埼玉医科大学病院 放射線科 山本 裕也
- ・ 埼玉医科大学病院 放射線科 井上 快児
- ・ 埼玉医科大学病院 整形外科 坂口 勝信

4. 試料・情報の管理責任者

埼玉医科大学病院 病院長 篠塚 望

お問い合わせについて

ご自身のカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先
までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを
廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

○研究課題名：MRI テクスチャ解析を用いた肩腱板修復術後の腱状態予測に関する研究

○研究責任（代表）者：埼玉医科大学病院 放射線科 名川 恵太

○Tel：049-276-1265 Fax：049-295-8003 E-mail：ldeso5rbdlayids9taiy@gmail.com（名川）